

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2020年3月24日

事業所名 空の鳥幼稚園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	16	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に過ごせるように工夫はしている。</li> <li>・せまい部屋あり。</li> <li>・年々によって人数とスペースのバランスが難しい時があると思います。</li> </ul>	建て替え後には課題解消の見込み
	2	職員の配置数は適切である	17	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任は3名ですが、登園数によってフォローをもらえているので難しいです。</li> <li>・より、寄り添ってと考えると難しいのかもしれない。どこまで求めるかによると思う。</li> <li>・子どもの人数に対して職員が多すぎる時はないか、また足りない時はないか(人数だけでなく過ごし方の部分で)その都度考えている。</li> <li>・十分だと思う。クラス内、クラス間の連携や情報交換を密にすることでよりよくなると思う。</li> </ul>	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス毎に過ごしやすい様に設定している。</li> <li>・テラスは少し坂になっているのでバギー◎注意しないと危険だなと思えます。</li> <li>・バリアフリーになっていない。</li> <li>・建て替え後のバリアフリー化に期待しています。</li> <li>・野の百合ホールに行くまでに段差があつたりしてバギー◎が移動しにくいところがある。</li> <li>・現園舎では可能な限り最大限◎に合わせた環境を整える努力をしている。</li> <li>・玩具の整理や選択をより行っていくことが必要。</li> <li>・安全な環境を作り(柵の配置や危険箇所のチェックなど)は常に行う必要があると思う。</li> <li>・扉の入り口に段差がある。フラットな出入り口を目指したい。</li> <li>・バリアフリーになっていない部分があるが建て替えで改善されるか。</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	18			<ul style="list-style-type: none"> <li>・古いところはあるが、掃除は丁寧にできている。松井さんもいて下さるので安心です。</li> </ul>	
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	18		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会での目標は常勤の職員だけになっている。非常勤との共有は必要なのかどうなのかなと思います。</li> <li>・計画と振り返り、改善の流れはどんな事に関しても行っている。</li> </ul>	非常勤職員の参加を勧める
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	17		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公表している。“いいえ”の意見もしっかりと反映されていると思います。</li> <li>・園長に任せて、自分たちで保護者の意向を集約して話せていない。</li> </ul>	

業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	1	4	・HP情報はそんなに要らない。	事業所の会報はない。保護者へは重要事項説明書で周知している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	13		4		監査人監査は受けているが、第三者評価はまだ未受審
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	17		1	・積極的にやっている。 ・園内研修を積極的に行っている。外部研修も興味あるものへはできる限り参加できるようにしている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	18			・児発管を中心に行っている。 ・支援計画に盛り込んでいけるような工夫は作ることができている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	17		1	・園独自のアセスメントシート?なら使用できているが、検査項目や標準化されたツールとなると十分ではないのかもしれない。	アセスメントシートの見直しを行う
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	18				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	17			・意見交換の機会は増えている。 ・行われているがさらに深めさらに細やかに見ていけると感じる。 ・たてただけにならないように意識して取り組んでいる。作成する際アイデアをもらう。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	17		1	・意見交換の機会は増えている。 ・行われているがさらに深めさらに細やかに見ていけると感じる。 ・意見を聞いて助言をもらい考えていくようにしている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	15		2	・毎月クラス会議、日々の振り返りで行っている。 ・クラスによって改善が必要なクラスもある。クラス会議にて改善点など共有し改善に努めている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	18				
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	1	3	・日により内容が決まっていなかったり活動だけ決まっていって進行が決まっていなかったり等、準備不足の時もあるように感じている。 ・日による。事前に発信をしている。打合せまでいかない。 ・行っているが十分でない部分もある。その都度相談しながら行うことはできている。	統括職員を配置し、話し合いの機会をもつ

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず難しい?クラスによる。</li> <li>・日によっては翌日になる事もある。(時間がとれない、半休など)</li> <li>・全員では難しいですが、1:1では話している。</li> <li>・終了時には時間を取れない事が多い。共有しなければいけないことはしている。</li> <li>・共有できる日とそうでない日があるが、色々な手段で共有していく努力をしている。</li> <li>・さらに深く良い話し合いを進めていけると思う。</li> <li>・必要に応じて行っている。</li> </ul>	統括職員を配置し、話し合いの時間をとる
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	17		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育、子ども優先となっており、記録を日々つけていられない時がある。</li> <li>・行事ごとにつながる事が多いが、その際は行っている。デイリー記入は時間を決めて書くようにしている。</li> </ul>	事務時間の確保ができるシフト作成を行う
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	18				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	18			<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり会議に関してない、必要があればできている。</li> </ul>	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	17				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	17				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	17				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	16		1		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	17				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	16		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通園児勉強会がここに当てはまるのかなあと思います。</li> <li>・必要に応じて行っている。普段からもっと行うことでより良い支援につながると思う。</li> </ul>	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	17			<ul style="list-style-type: none"> <li>・インクルーシブ保育を行っている。</li> </ul>	
	29	(自立支援)協議会児童部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	14		2		参加しているが、内容などを全ての職員に周知できていない

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	17				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	12	2	3	・家族支援、どこからをそういうのか?勉強不足です。 ・プログラムはしていないが相談などには随時対応している。	今後も一人一人の声を十分に聴きとりながら進めていく
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	17		1	・説明会を行っている。	知らない職員にも伝えていく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	18			・懇談で丁寧に伝えている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	18			・帳面、送迎時、電話等で行う。④にとって必要な助言を適切に行えているかは振り返っていく必要がある。 ・支援がどこまでできているか…(お話をすることで、少しはなっていることもあるかもですが…)	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	18			・保護者会(母中心、父中心2つ)に対して一緒に考えたり、参加しながら進めている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	18			・すみやかに主任、リーダーから園長へ報告すばやい対応を行っているように思う。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	18			・毎月おたよりを出している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	18				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	18				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17		1	・愛隣館全体で行うことが多い。	行っていることを、知らない職員にも周知していく
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	17		1	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	18				
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	18			・発作や緊急時のマニュアルを作っている。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	18			・マニュアルを個人に合わせて作成。	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	18				

46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	18				
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	18				

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。